

## 平成 28 年度 実績と課題

### 2. がん対策

#### (1) 受診者数

- 平成 23 年度と比較すると女性がん検診の伸びが大きい、胃がん・肺がん受診者数が伸び悩んでいる。
- 初回受診者数では、胃・肺・大腸がん検診で受診者数が減少しているが、子宮頸がんでは受診者数が大幅に増加している。

#### <集団がん検診>

胃・肺・大腸がん検診	23会場延べ46回(土曜2回、日曜祝日4回)
女性がん検診	19会場延べ34回(土曜1回、日曜祝日3回)
総合検診	1回
レディース検診	4回(土曜:1回、日曜祝日:3回)

#### <医療機関検診>

子宮頸がん検診	31医療機関
乳がん検診	1医療機関(9月～12月の休日各月1回)

#### (2) 受診率

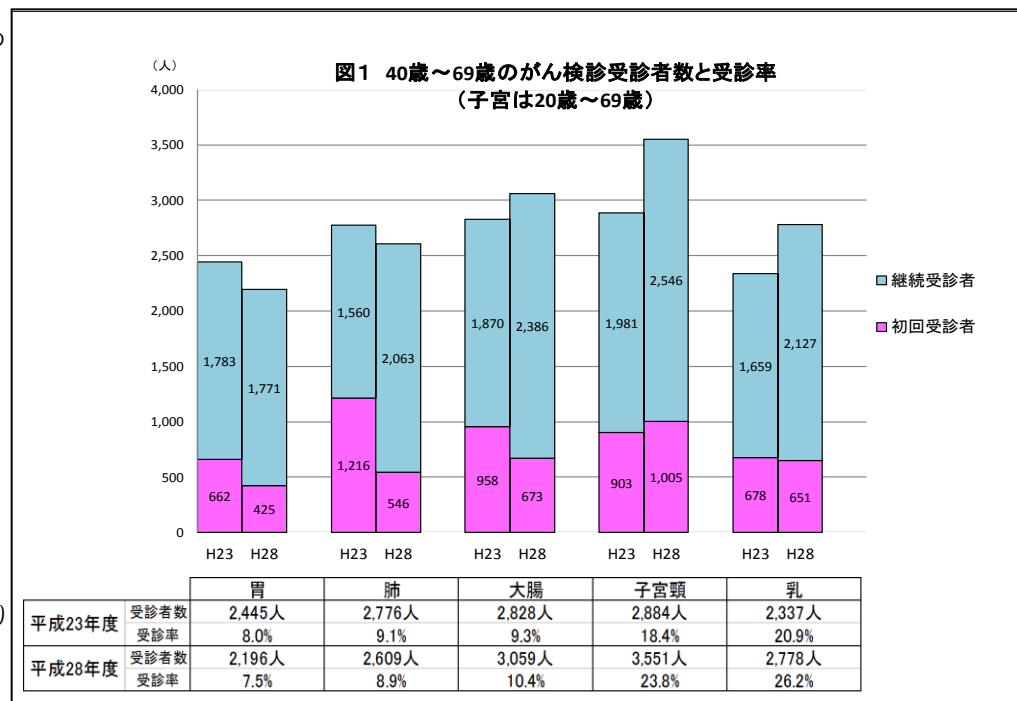
- 大腸がん、子宮頸がん、乳がん検診で受診率が伸びているが、がん対策基本法で示されている国の目標受診率 40%、50%は達成していない。
- がんによる死亡率減少のために、今後も受診率を増やしていく取り組みが必要である。

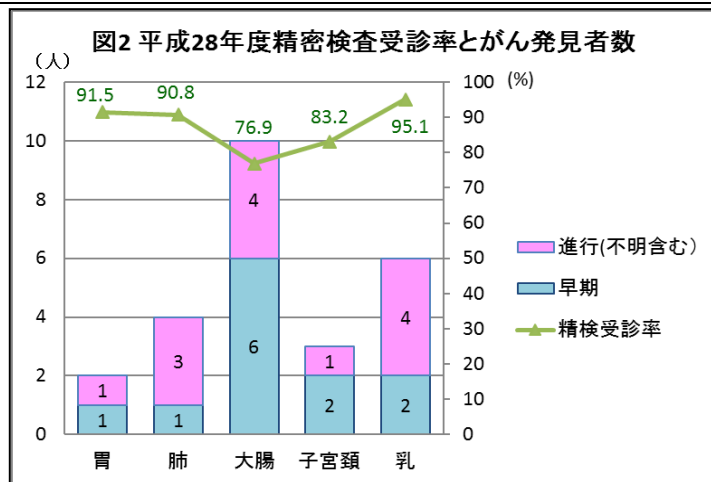
#### (3) 精密検査受診率とがん発見者数

- 胃、肺、乳がんでは国が目標としている精密検査受診率 90%を超えていが、子宮頸がん、大腸がんでは達成していない。
- 大腸がんでは精密検査受診率が 76.9%であるが、10 人にがんが発見されている。

#### (4) 精密検査未受診者理由

- 精密検査未受診の理由は「忙しい・面倒・必要性をあまり感じない」が 25 名と最も多く、受診勧奨時に精密検査受診の必要性をしっかりと伝えていく必要がある。
- 受診済みの者も 26 名おり、精密検査結果把握のためにもさらに医療機関に精密検査の結果返却を依頼していく必要がある。
- 未把握者は 60 名である。受診率 100%を目指すために、未把握者をなくし、受診勧奨をしていく必要がある。



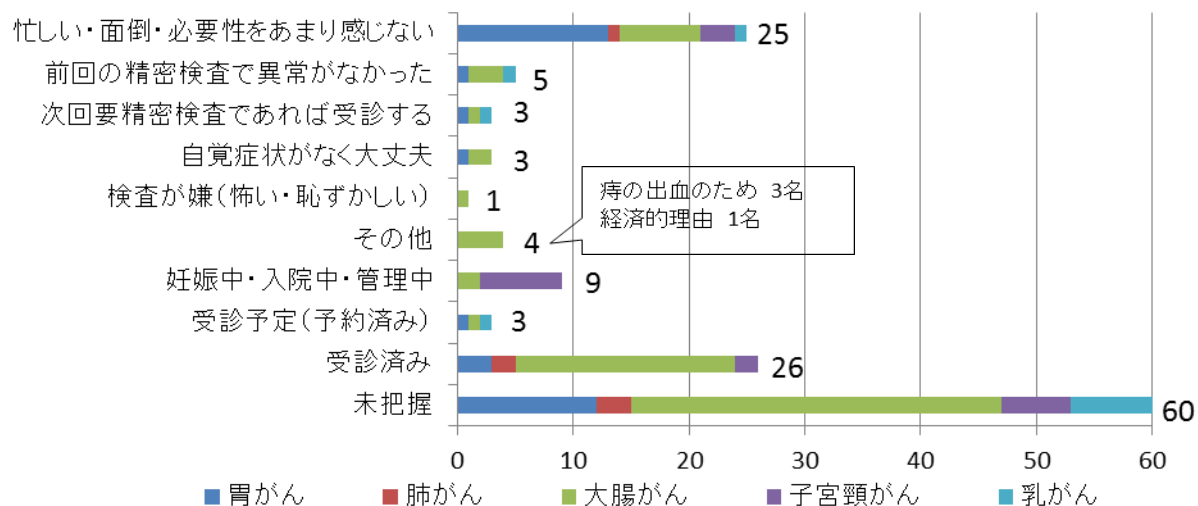


**<精密検査受診勧奨>**

訪問件数	延べ19件
通知郵送数	延べ322通
電話件数	延べ145人

**図3 がん検診精密検査未受診者の理由**

(胃32名、肺6名、大腸72名、子宮18名、乳11名)



**(5) 胃がん検診 (胃内視鏡検査)**

- ・平成 28 年度 加賀市内視鏡胃がん検診運営委員会を 8 回実施
- ・平成 29 年 3 月 受託医療機関の照会をかけ、8 医療機関が検診実施医療機関となる。
- ・平成 29 年 5 月 加賀市内視鏡胃がん検診 (胃内視鏡検査) 説明会及び研修会を実施
- ・平成 29 年 6 月 内視鏡胃がん検診を開始

### 【平成 29 年度の取り組み】

#### （１）受診率向上に向けた取り組み

- ・ 集団女性がん検診の土曜日の回数を 2 回、日曜・祝日の回数を 3 回増やす。
- ・ 平日の午前中の胃、肺、大腸がん検診日に乳がん検診をセットにした女性が受けやすい検診日を新設（5 回）
- ・ 乳がん検診（加賀市医療センター）、内視鏡胃がん検診（市内 8 医療機関）の医療機関での実施
- ・ 加賀市医療センターで休日乳がん検診を 10 月～12 月に各月 1 回実施する。
- ・ 子宮、乳、大腸がん検診の無料クーポン券を個別通知に同封して配布する。また、9 月にクーポン未利用者へ圧着はがきを用いて再受診勧奨を実施する。
- ・ 健食健歩プロジェクトの「健幸ポイント」を活用し、個別アプローチだけでなく地区活動等でも働きかけ、無関心層の受診につなぐ。

#### （２）精密検査受診率向上の取り組み

- ・ 5 月中旬の個別案内通知に「要精密検査の判定となった場合には精密検査の受診が必要である」ことを記載する。
- ・ 精密検査未受診者に通知を郵送する際に、精密検査の受診の必要性や必要な検査をしっかりと伝えるために、インパクトのあるチラシを同封して受診につなぐ。
- ・ 書面による精密検査結果の返却がない者でも受診が確認された場合には、委託業者から医療機関へ精密検査結果の状況を確認するよう依頼する。

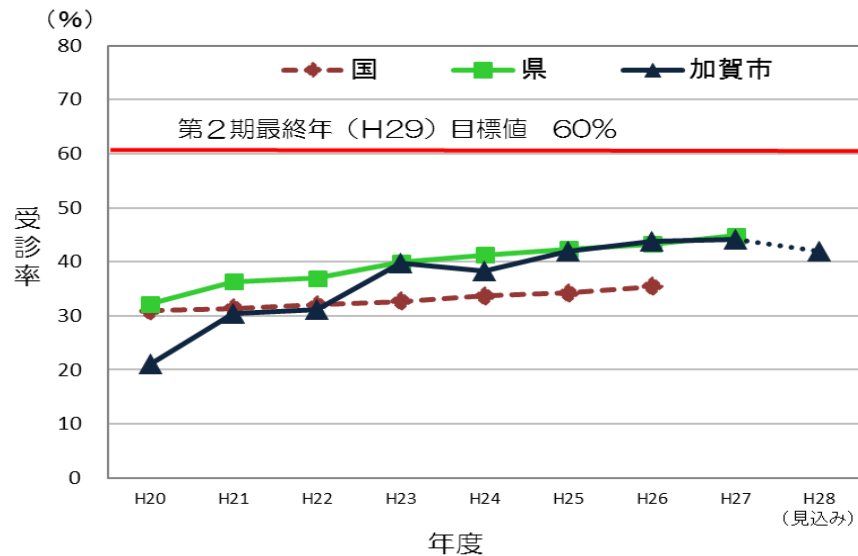
平成 28 年度 実績と課題

### 3. 特定健康診査

#### (1) 特定健診受診率の推移

区 分	第 1 期					第 2 期			
	平成 2 0 年度 (法定報告)	平成 2 1 年度 (法定報告)	平成 2 2 年度 (法定報告)	平成 2 3 年度 (法定報告)	平成 2 4 年度 (法定報告)	平成 25 年度 (法定報告)	平成 26 年度 (法定報告)	平成 27 年度 (法定報告)	平成 28 年度 (H29.5 暫定)
特定健診対象者数	14,886人	14,848人	14,683人	14,103人	13,783人	13,618人	13,252人	12,683人	12,072人
特定健診受診数 (受診率)	3,141人 (21.1%)	4,512人 (30.4%)	4,585人 (31.2%)	5,610人 (39.8%)	5,274人 (38.3%)	5,688人 (41.9%)	5,804人 (43.8%)	5,590人 (44.1%)	5,070 人 (42.0%)
受診率伸び	-	9.3%	0.8%	8.6%	-1.5%	3.6%	1.9%	0.3%	-2.1%

図1 特定健診受診率の推移

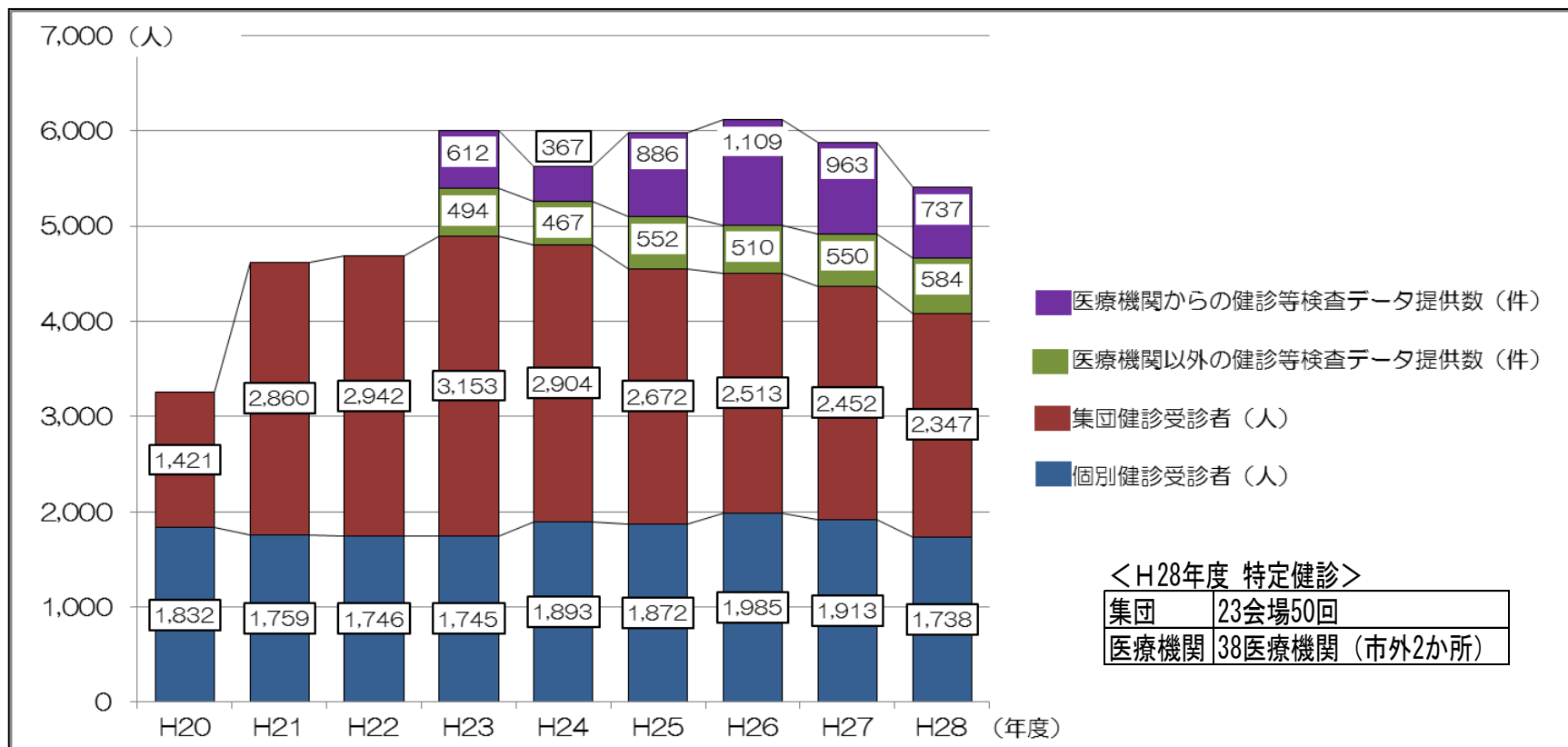


- ・ 特定健診受診率は第2期最終年の目標値である 60%を目指して年々高くなっていったが、平成 28 年度の見込みは 42%と減少する見込みである。

## （２）平成 28 年度特定健診受診率向上及び未受診者対策と結果

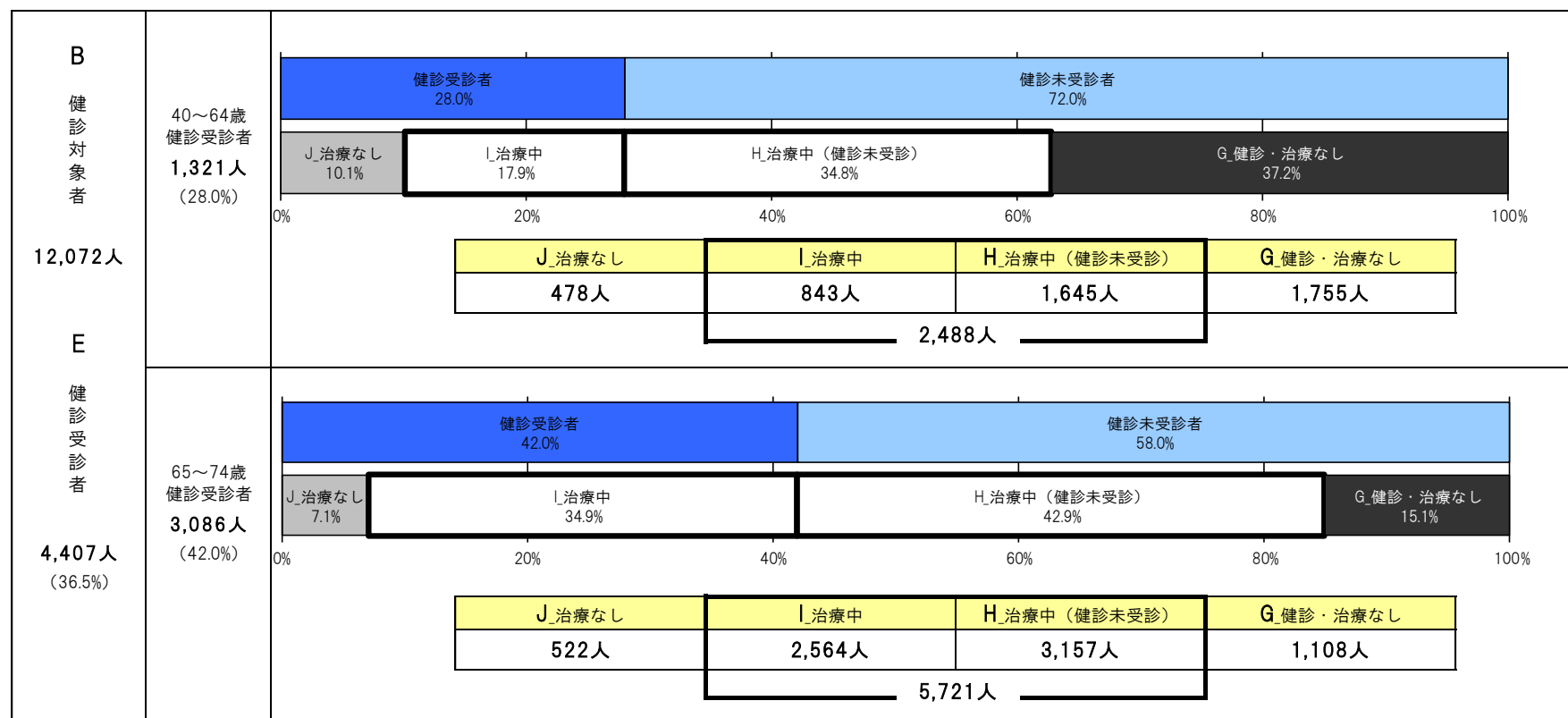
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
受診率向上対策	健 魅 診 力 会 あ 場 る	(新)②健診会場における体組成測定(作見、動橋、いきいきランド(計4回))、おむすび配布(山代、片山津、河南(計4回))											
	全ての健診を一度に受診できる総合健診日、レディース健診日の実施(総合健診1回(6月)、レディース健診日4回(8、11、12月))												
	総合健診来所者 56人、レディース健診来所者 4回で144人 集団健診来所者 計2,369人(平均47人/回)												
	H28年度加賀市健康診査のご案内配布・ポスター等掲示(世帯案内、窓口案内、医療機関、集団健診会場、地区会館、公共施設、協力店舗等)												
	10月号広報(不参健診案内)												
	広報紙、看板・広報車マグネット、のぼり旗設置												
	各種団体健診周知依頼(回覧・ポスター・有線放送等町内会長協力依頼)												
未受診者勧奨の徹底	医療機関への健診説明会(受診勧奨・健診等検査データ提供依頼)	区長会 役員会 協力依頼											
	保健推進員への特定健診等受診勧奨事業委託	のぼり旗、ポスター配布・設置											
	地区での啓発周知(健診事前学習会、健康講座等)	地区総会等で随時実施											
	・H28年度の特定健診、がん検診について ・健康応援プラン21(第2次)推進(ダイジェスト版)	ダイジェスト版全世帯 7月号広報折込											
	40歳、65歳の特定健診受診料無料対象者への個別受診勧奨	訪問実施 385人→80人受診(20.8%) 40歳受診率 H27 29.6% → H28 31.4% 65歳受診率 H27 48.8% → H28 50.4%											
	市外通院中の者の個別受診勧奨(健診等検査データ提供の依頼を含む)												
	(新)①過去受診歴のある対象者への個別訪問による受診勧奨	定期的に実施 *がん検診の予約状況から、少ないと予測される地区に実施(随時)。1,131人→346人受診(30.6%)											
関係機関からの情報提供	保健推進員・食改推進員の未受診者への受診勧奨	訪問実施43人→16人受診											
	国保保険証交付時受診勧奨チラシ同封	9/9 8,750通											
	未受診者通知(ハガキ)	9/6発送 9,707通											
	未受診者電話勧奨(国保連合会)※41歳～59歳の未受診者	1,237人に電話勧奨実施→うち212人受診(17.1%)											
	重症終年管理者訪問(過去HbA1c7.0以上、蛋白2+で平成27年度未受診者)	対象者実人数 185人 →訪問84件 →受診17人											
	健診等検査データ提供の依頼・生活習慣病で受療中の者のリストを医療機関へ提供(国保連合会との連携)	リスト配布(9月下旬)											
	事業主健診データの授受(国保連合会事業)	リスト配布(1月) 計32人											
	個人からの検査結果データ提供強化(個別通知用紙同封)	訪問時や窓口時に依頼するなど機会を見て実施											
	国保医療費通知書に検査結果データ提供用紙同封(KDBIによりHbA1c実施者の内、未受診者に記入入りの用紙同封)	1/30発送 867件→回収件数192件(3/10時点)											

### (3) 特定健診受診者の内訳



- ・ 集団健診会場での受診者数は平成 24 年度より減少している。(H27 2,452 人→H28 2,347 人 △105 人)
- ・ 個別健診受診者数 (H27 1,913 人→H28 1,738 人 △ 175 人) と医療機関からの健診等検査データ提供数 (H27 963 人→H28 737 人 △226 人) の落ち込みが大きく、受診者数減少につながっている。
- ・ 人間ドックの受診者数が伸びているため (前年度比+40 人)、医療機関以外の健診等検査データ提供数が増えた。
- ・ 受診率向上のためには、集団・個別受診者数の減少に歯止めをかけること、また医療機関との連携を強化し、医療機関からの健診等検査データ提供数を伸ばしていく必要がある。

(4) 平成 28 年度の未受診者の状況（法定報告：平成 29 年 5 月時点）



- ・健診未受診者のうち「G. 健診・治療なし」については、40 歳～64 歳で 1,755 人、65 歳～74 歳で 1,108 人と全対象者数の 23.7%を占めている。これら「G」の対象者へは、個別訪問による健康管理状況の把握や必要に応じた受診勧奨を行う必要がある。

### 【平成 29 年度の取り組み】

- (1) 新規受診者の増加を図る
  - ・ 40 歳、65 歳の受診料無料化の継続
  - ・ 健食健歩プロジェクトの「タニタ健康プログラム」や「健幸ポイント」を活用し、無関心層への受診につなげていく。
- (2) 医療機関と連携した受診勧奨
  - ・ 年 3 回、生活習慣病で受療中の者のリストを健診実施医療機関へ提供し、健診等検査データ提供の協力を依頼する。
- (3) 受けやすい健診体制
  - ・ 特定健診やがん検診を同時に受診できる総合検診日やレディース健診日の継続
  - ・ 平日の午前中の胃、肺、大腸がん検診日に乳がん検診をセットにした女性が受けやすい健診日を新設（5 回）
- (4) 継続受診者への対策
  - ・ 健診後には住民自身が健康管理のために健診を有効活用できるわかりやすい資料で情報提供を行う。また、健診後に楽しみながら健康づくりに参加できる健食健歩プロジェクトを PR して健康づくりへの気運を高め、受診につなぐ。